

ふるさと寄附金の積極的推進

寄附総額を過去最大の6.6億円と見込み、寄附者の拡大と増収を目指した取り組みを行うとともに、企業版ふるさと納税も活用し、自主財源の確保に努めます。



国際交流の推進

友好姉妹都市であるケンブリッジ地域との友好の絆を強化するため、ケンブリッジ地域から4名を受け入れる農業体験交流事業を新たに実施し、交流を推進します。



防災体制の強化

災害発生に備えて日頃から準備を行う必要があるため、電気自動車を活用した非常用電源確保のための災害備蓄品等を整備し、防災体制の強化に努めます。



開業医誘致等助成の拡充

地域における医療体制の維持確保を図るため、開業医誘致等助成事業の拡充を行い、町民の健康と福祉の増進、持続可能な医療体制の構築を図ります。



ゼロカーボンの推進

省エネ行動ポイント付与アプリを新たに導入し、町民のエコ意識や省エネルギーの意識の醸成を図り、ゼロカーボンシティに向けた取り組みを推進します。



第Ⅳ期埋立処分場の整備

令和6年度から着工し、令和9年2月供用開始に向け整備を行っています。引き続きごみの減量化に向けた取り組みを進め、処分場の延命化を図ります。



令和8年度

町政執行方針 教育行政執行方針

私は令和5年5月、2期目の重責を担って以来、美幌町の「元気」と「活力」を最大限に引き出すため、全力で町政運営に取り組んでまいりました。

これまでの取り組みを通じて、町民の皆様の声が町政を動かす原動力であることを強く実感しており、令和8年度も皆様との対話を重視し、共に美幌町の未来を切り拓いていく所存です。

我が国の経済情勢は、名目・実質GDPは過去最高水準となるものの、他方で物価は上昇傾向が継続、金利も上昇し供給制約に直面する中で、「成長型経済」に移行できるかどうかの分岐点にいとされ、政府は「経済あつす」のような中、政府は「経済あつす」の財政」を基本とし、「責任ある積極財政」の考え方の下、戦略的に財政出動を行うことで「強い経済」を構築することが重要であるとしています。

本町におきましても、全国的な潮流と同様に、人口減少と少子高齢化は喫緊の課題であり、さらに物価高騰や人件費の上昇といった経済的要因が財政運営に一層の厳しさをもたらすことが予想されます。しかし、このような困難な時代だからこそ私たちは立ち止まることなく、この状況を成長の機会と捉え、美幌町が培ってきた豊かな資源と町民一人ひとりの持つ無限の可能性を信じ、積極的な施策を展開してまいります（3月町議会「町政執行方針」より抜粋）。

町政執行 5つの軸

- 1 人を創り、地域力を高めるまちづくり
- 2 自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづくり
- 3 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり
- 4 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり
- 5 夢を育む体験！あたたかい人をつくるまちづくり

町民一人ひとりが
主役となり、
「みんなで進むまち」へ

①人を創り、地域力を高めるまちづくり

- ▽自衛隊の充実・強化・支援の継続
- ▽持続可能な公共交通システムの構築と担い手の確保・育成
- ▽個別避難計画の策定と厳冬期訓練実施による防災意識向上と防災体制の強化
- ▽多様化・高度化に対応した消防行政の運営
- ▽屈斜路カルデラトレイル山岳救助用資器材の整備

②自然の美しさやくらしの安心を、みんなで護りあうまちづくり

- ▽高齢者が地域の中で安心して元気に過ごせる環境の整備
- ▽介護サービス事業者の人材確保に向けた支援
- ▽認知症・フレイル予防の推進
- ▽乳幼児のRSウイルス感染症の重症化予防に向けた取り組み
- ▽障がい者を地域全体で支える体制の構築
- ▽医療体制・医療従事者の維持確保
- ▽国保病院のエアコン整備・更新